

見える系となる木材

2017/3/18(土)

参加無料・申込不要

アクロス福岡
4階 国際会議場



木材を上手に使って、森を上手に育てることは、循環型社会を構築していく上で極めて重要なことです。戦後植林した樹木は伐採期を迎えています。住宅着工件数が減少していくなか、十分な需要が見込めず新たな木材利用が求められています。しかし、木材が目に見えないところで使われても、その魅力は一般消費者には十分に伝わりません。そこで、公開シンポジウムでは、消費者・市民がいつでも目にする事ができる家具・インテリアに焦点をあて、「見える系となる木材」としてとりあげることにいたしました。木材の魅力を再発見し、今後の木材需要増に繋げたいと思います。みなさまの多数のご参加をお待ちしております。

講演およびパネルディスカッション 午後2時30分～5時 (受付開始 午後2時)

九州大学の中で息づく木製什器群 一歴史的備品再生プロジェクトの取り組み一

九州大学大学院農学研究院
教授 吉田茂二郎 氏



木を使った大川家具の気になる話

松本意匠
代表 松本豊 氏



JR九州における木材利用について

九州旅客鉄道株式会社
常務取締役 津高守 氏



司会



福島和彦 氏
名古屋大学教授
NPO才の木理事長
日本木材学会副会長



井上真理 氏
九州大学副理事
農学研究院・教授

info@sainoki.org (NPO法人 才の木)



福岡大会スローガン

百年の木躍、箱崎キャンパスから未来へ